

QST病院にて前立腺がん 炭素線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では前立腺がんに対して炭素線治療を行った患者さんの臨床データを解析し、炭素線治療やマルチオン線治療（炭素線に加えてヘリウム線、酸素線やネオン線を組み合わせて照射する新しい重粒子線治療方法）において、腫瘍への治療効果を高めつつ正常組織へのダメージを軽減するための最適な照射方法および線量分割プロトコル（照射回数と処方線量の組み合わせ）を探索的に検討を行います。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、改正個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 前立腺がんに対する安全かつ効果的な照射法及び線量分割プロトコルの検討

[実施期間] 許可日～2030年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 稲庭 拓（量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所）

[研究の目的] 前立腺がんに対する重粒子線治療における最適な照射方法および線量分割プロトコルを検討すること。

[研究の対象・情報の収集方法]

●対象となる方々

QST病院にて1995年4月から2026年3月までに前立腺がんに対して炭素線治療が開始された方。

●利用する情報及び収集方法

紙カルテ、電子カルテ、医用画像管理システム、治療計画システム、治療計画サーバ、診断支援システム等に保存されている2028年3月までの臨床データと治療計画データを収集します。新たな質問や検査はありません。収集したデータは、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないようにして、パスワードをかけるなど安全管理に配慮した上で、研究を実施します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報はお名前などの個人を直接同定できる情報を削除し、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないように加工した状態で用います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報が外部に出ることはありません（個人情報保護法及び研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います）。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2026 年 11 月 30 日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。2026 年 11 月 30 日以降に申し出があった場合においても、可能な限り患者さんのデータを解析対象から除外しますが、申し出があった時点で解析に

使用され、特定の個人を識別することが出来る情報と切り離されている場合には取り除けない場合もございます。そのような場合であっても患者さんの個人情報公表されることはありません。また、本研究で取得させていただいたデータは、将来的に、現時点では定まっていない新たな研究目的のために二次利用させていただく可能性があります。二次利用に関する拒否のお申し出がない限り、データは研究期間の終了後も引き続き保管させていただきます。また、ご自分のデータの使用をお断りになってもその後の診療に影響はありません。

【問い合わせ先：窓口】

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

物理工学部 稲庭拓

電話：043-206-3170

（平日9:00～17:00）